

2022（令和4）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区障害者福祉会館

東京都手をつなぐ育成会 統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区障害者福祉会館サブミッション

「さまざまなニーズに対応できるよう、関係機関と連携をとり、利用者・近隣住民に信頼される施設を目指す。」

1. 全体状況

基本的な新型コロナウイルス感染予防を継続しながら、BCPの作成をはじめ、それぞれの事業再開の工夫を行った。会館運営に関しては、沼袋区民活動センターと協力しながら、その都度の感染状況を踏まえて、集会室利用の制限などを見直し、コロナ禍前の状態に戻した。また、会館祭りは、中止となったが、地域のお祭りである「丸山塚祭り」に、中野区内作業所4カ所と一緒に、自主製品販売として参加した。西側道路拡張に伴う回廊改修工事中は、騒音や振動など、医療的ケア利用者への影響を考慮し、地下の集会室を利用する等の工夫をした。また、東京都重症心身障害児者通所事業の申請を踏まえての3階車いすトイレ改装では、設計時から関わり、リフトなどの補助器具の提案を行った。

生活介護では宿泊や遠出の外出は中止となったが、近隣での昼食外出を実施した。特に、医療的ケア利用者は、近隣ホテルの宴会場を借り、会館医務室と同様の環境を整え、家族の付き添い無しの外出を実施できた。自立訓練では、感染状況を踏まえながら、関係機関に直接出向き、事業説明やホームページを作成し、より広く多くの人に事業内容を広報した。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 会館運営

- ① 第5期指定管理プロポーザルに向けた準備
理事会での指定管理プロポーザルの内容説明を行い、承認を得た。
また、中野区とも今後の自立訓練事業の在り方についての課題を検討した。
- ② 新型コロナウイルス感染症対応を含むBCP作成と運用
BCPを作成し、職員の状況などによる変更があった際には、改訂した。新型コロナウイルスについては、厚生労働省や東京都の対応に合わせて、その都度改訂した。また、バスの危機管理マニュアル、特に大災害によりバス運行を中止した場合について、会館を利用する全ての方に対して、説明を行った。
- ③ 会館回廊及び3階車いすトイレの改修工事
振動と騒音に備え、区と協議し、予め地下の集会室の貸出を中止し、対応した。車椅子トイレについては、設計段階から関わり、リフトなどの補助機器の提案を行った。

(2) 自立訓練（機能訓練）事業

- ① 事業理解の促進と利用率向上
相談支援事業やケアマネージャーが在籍する包括支援センターへ事業説明する機会を設けた。これまで紹介のなかった事業所から新規利用者の利用に繋がることが出来た。また、自立訓練職員による区内在住の障害を持った方に向けて「出前講座」を実施した。他施設からの参加があり、他施設と連携することが出来た。
- ② 一人一人にあった訓練内容の実施
利用者が希望する訓練を行えるように各リハ職を配置し、訓練を実施した。また、身体機能の向上を望む方や電動車いすの屋外駆動を望む方等の希望する内容の違いも集団でのプログラムを組むことで、室内や屋外の訓練のモチベーションを高めることに繋がった。
- ③ 地域活動支援センタープログラムの充実
昨年度始めた自身で物を製作するグループは、利用者自身が作りたい意欲を継続して取り組むことが出来ている。またデジタルを活用するグループは、SNSを活用し外出先で撮影した写真を掲載や利用者間でSNSを活用した連絡方法等の運用が定着した。
既存のプログラムは、利用者の高齢化や新規利用がない影響もあり利用者人数の減少もあり、レクリエーションの内容を少人数で行えるように考案し実施した。

(3) 生活介護事業

- ① 東京都重症心身障害児（者）通所事業に向けたレイアウトの変更
東京都重症心身障害児（者）通所事業に向けた活動室のレイアウト変更を行った。また、車いすトイレ改修工事中は、利用可能な場所を工夫活用し、大きな混乱無く、利用者の日常の支援が行えた。車いすトイレの改修工事は、令和5年2月末日に完成した。
- ② 利用者情報の更新と整理
紙面で管理されていたフェースシートを、今期の更新を期に全利用者分をデータ化した。
- ③ 地域に向けた理解啓発活動方法の工夫と発信
今年度は、会館祭りは中止し、感染症対策を行いながら、沼袋区民活動センターが実施した丸山塚祭りに参加した。利用者が、活動で作成した自主生産品やクッキー等の焼き菓子の販売を行った。日中活動時間内で、利用者自らが販売することにより、より生活介護事業への理解啓発となった。

(4) 特定相談支援事業

生活介護利用者の充実した地域生活に向けて、新規計画0件、更新12件、モニタリング12件のサービス等利用計画を作成した。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

障害者の日常生活及び社会生活を支援し、共生社会の実現に向けて、区内の障害者が地域住民との連携の中で、交流と相互理解を深めることによって、障害者の福祉向上を図ることを目的とする。

(2) 名称及び所在地等

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区障害者福祉会館
事業所番号	自立訓練（機能訓練） 1 3 1 1 4 0 0 9 0 5 生活介護 1 3 1 1 4 0 0 8 9 7 特定相談 1 3 3 1 4 0 1 5 4 5
所在地	東京都中野区沼袋2丁目40番18号
電話	03 - 3389 - 2171
ファックス	03 - 3389 - 2175
電子メール	na_shoukan@ikuseikai-tky.or.jp

(3) 設立

設立年月日	昭和54年10月1日
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
事業所種別	障害福祉サービス（生活介護事業） 障害福祉サービス（自立訓練（機能訓練）） 障害福祉サービス（特定相談）

(4) 施設の規模

敷地面積		2,035.425㎡
延床面積	障害者福祉会館	2,650.790㎡
	沼袋区民活動センター	1,135.770㎡
	防災備蓄倉庫	188.010㎡
構造	鉄筋コンクリート造	地上3階・地下1階建て

(5) 職員構成

① 職員構成

ア. 会館運営

常勤	施設長（兼務）	1名	非常勤	管理員	4名
	事務（兼務）	2名			
合計		3名	合計		4名
合計		7名			

イ. 自立訓練（機能訓練）・地域活動支援センター

※管理者（施設長）サービス管理責任者（理学療法士）

常勤	施設長（兼務）	1名	非常勤	支援員	2名
	事務（兼務）	2名		看護師	1名
	主任支援員	1名		理学療法士	1名
	支援員	2名		作業療法士	2名
	理学療法士	1名		言語聴覚士（育休）	1名
	作業療法士	1名		言語聴覚士（産休代替）	1名
	看護師	1名		嘱託医（整形外科）	1名
				嘱託医（内科）	1名
合計		9名	合計		10名
合計		19名			

ウ. 生活介護 ※管理者（施設長）サービス管理責任者（主任支援員）

常 勤	施設長（兼務）	1名	非 常 勤	生活支援員	7名
	事務（兼務）	2名		看護師	2名
	主任支援員	1名		理学療法士	2名
	支援員	7名		作業療法士	1名
	看護師	2名		嘱託医（精神科）	1名
				嘱託医（歯科）	1名
合 計		13名	合 計		14名
合 計		27名			

② 職員人事

事由	日付	職名	種別	氏名	備考
採用	R4/6/22	言語聴覚士	パート	■■■■■	
採用	R4/8/24	支援員	パート	■■■■■	
採用	R4/12/1	支援員	パート	■■■■■	
採用	R5/1/1	支援員	常勤	■■■■■	

事由	日付	職名	種別	氏名	備考
退職	R4/9/30	支援員	常勤	■■■■■	
退職	R4/11/30	支援員	常勤	■■■■■	
退職	R5/3/31	言語聴覚士	パート	■■■■■	
退職	R5/3/31	作業療法士	パート	■■■■■	
退職	R5/3/31	理学療法士	パート	■■■■■	
退職	R5/3/31	非常勤看護師	パート	■■■■■	
退職	R5/3/31	作業療法士	パート	■■■■■	

事由	日付	職名	氏名	備考
異動転入	R5/1/1	支援員	■■■■■	練馬区大泉障害者地域生活支援センターさくら

事由	日付	職名	氏名	備考
異動転出	R5/3/31	支援員	■■■■■■■■■■	清瀬育成園 ひだまりの里きよせ
異動転出	R5/3/31	パート支援員	■■■■■■■■■■	新宿区立新宿生活実習所
異動転出	R5/3/31	パート支援員	■■■■■■■■■■	中野区かみさぎこぶし園

(6) 利用者状況

① 自立訓練（機能訓練）事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用することが可能な方で、年齢は契約時満65歳未満とする。ただし言語訓練は除く。

介護保険制度および医療機関における同種サービスの併用は不可。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	10名	20名
13:00～15:30	10名	

ウ. 性別・年齢構成（令和4年度内）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
男性	0名	0名	0名	1名	5名	1名	1名	8名
女性	0名	0名	1名	1名	3名	0名	1名	6名
合計	0名	0名	1名	2名	8名	2名	2名	14名

エ. 障害程度（令和4年度内）

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	5名	3名	1名	0名	0名	0名	9名
2種	0名	1名	1名	1名	0名	0名	3名
合計	5名	4名	2名	1名	0名	0名	12名

オ. 利用者の利用前の状況（令和3年度内）

状況	在宅	入院	通院	他機関	その他	合計
人数	8名	0名	0名	5名	1名	14名

カ. 利用実績

	定員	入所	退所	月末 現員	事業 日数	利用 延数	利用率 (%)
4月	20	0	1	8	19	111	29.2
5月	20	1	0	8	19	87	22.9
6月	20	1	0	9	22	131	29.8
7月	20	0	1	9	20	117	29.2
8月	20	0	2	8	22	66	16.5
9月	20	0	1	6	20	44	11
10月	20	0	1	5	20	43	10.8
11月	20	2	0	6	20	62	15.5
12月	20	0	0	6	20	59	14.8
1月	20	2	0	8	19	70	18.4
2月	20	1	1	8	19	84	22.1
3月	20	0	0	8	22	93	21.1
合計					242	967	29.4

※平均利用率：21.6%

② 地域生活支援事業（地域活動支援センター）

ア. 利用対象者

中野区内に住所を有する満65歳未満の身体障害者、または高次脳機能障害の診断を受けた方（難病についても応相談）であり、常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用できる方。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	7名	15名
13:00～15:30	8名	

ウ. 性別・年齢構成

	20歳 未満	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 65歳	合計
男性	0名	0名	0名	1名	9名	4名	14名
女性	0名	0名	0名	0名	4名	2名	6名
合計	0名	0名	0名	1名	13名	6名	20名

エ. 障害程度

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	9名	6名	1名	0名	0名	0名	16名
2種	0名	0名	0名	2名	1名	1名	4名
合計	9名	6名	1名	2名	1名	1名	20名

オ. 利用実績

	定員	入所	退所	月末 現員	事業 日数	利用 延数	利用率 (%)
4月	15	0	1	20	19	111	39
5月	15	0	0	19	19	105	36.8
6月	15	0	0	19	22	131	39.7
7月	15	0	0	19	20	119	39.7
8月	15	0	0	19	22	117	35.5
9月	15	0	0	19	20	115	38.3
10月	15	0	0	19	20	118	39.3
11月	15	0	0	19	20	100	33.3
12月	15	0	0	19	20	98	32.7
1月	15	0	0	19	19	98	34.4
2月	15	0	0	19	19	109	38.2
3月	15	0	1	19	22	119	36.1
合計					242	1340	36.9

※平均利用率：36.9%

③ 生活介護事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。
障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）の方。

イ. 定員

32名（現員25名）

ウ. 性別・年齢構成

	20歳 未満	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50歳 以上	合計
男性	2名	7名	1名	2名	3名	15名
女性	1名	6名	1名	1名	1名	10名
合計	3名	13名	2名	3名	4名	25名

*平均 男性 33.6歳 女性 30.4歳 全体 33.4歳

エ. 障害程度

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	合計
1度	1名	2名	0名	0名	0名	0名	3名
2度	13名	0名	1名	0名	0名	0名	14名
無し	0名	8名	0名	0名	0名	0名	8名
合計	14名	10名	1名	0名	0名	0名	25名

オ. 障害支援区分

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0名	0名	5名	7名	13名	25名

カ. 利用者の利用前の状況

状況	在宅	特別支援 卒業	区立卒業	他通所 施設	入所施設	合計
人数	1名	21名	1名	2名	0名	25名

キ. 保護者状況

状況	両親	父親	母親	兄弟 姉妹	叔父 叔母	従兄 弟	後見 人	その 他	合計
男性	12名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	1名	15名
女性	9名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	10名
合計	21名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	2名	25名

ク. 利用実績

	定員	入所	退所	月末 現員	事業 日数	利用 延数	利用率 (%)
4月	32	0	0	27	19	323	62.9
5月	32	0	0	27	19	317	61.7
6月	32	0	1	27	22	359	60.4
7月	32	0	0	26	20	291	55.9
8月	32	0	1	26	22	323	56.4
9月	32	0	0	25	20	303	60.4
10月	32	0	0	25	20	319	63.8
11月	32	0	0	25	20	319	63.8
12月	32	0	0	25	20	284	56.8
1月	32	0	0	25	19	324	68.2
2月	32	0	0	25	19	325	68.4
3月	32	0	0	25	22	378	68.7
合計					242	3865	62.2

※平均利用率： 62.2%

4. 事業実績

(1) 会館運営

① 送迎バスの運行管理

ア. 運行台数

マイクロバス（リフト付き） 4 台

ワゴン車（リフト付き） 5 台

イ. 運行時間

午前 7 時 25 分～午後 6 時 00 分

ウ. コース

区内 9 コース

エ. 利用状況

	運行回数	利用人数
赤バス	647 回	2509 名
紫バス	615 回	3476 名
青バス	630 回	5330 名
緑バス	633 回	4623 名
れもんバス	618 回	1037 名
りんごバス	613 回	1500 名
いちごバス	472 回	1260 名
すいかバス	652 回	1723 名
やよいバス	486 回	2599 名
合 計	5366 回	24057 名

② 施設提供

ア. 個人利用

a. 利用時間 午前 9 時から午後 10 時

b. 利用状況

施設	利用人数
福祉図書室	0 名

イ. グループ利用

a. 利用時間

利用時間					
1	9:00～12:00	2	13:00～17:00	3	18:00～22:00

b. 利用状況
障害者団体

施設	件数	人数
多目的室	12件	55名
調理室	20件	256名
音楽室	89件	1001名
スポーツ訓練室	149件	888名
合計	270件	2200名

一般団体

施設	件数	人数
調理室	0件	0名
音楽室	73件	1280名
スポーツ訓練室	2件	12名
合計	75件	1292名

(2) 自立訓練事業（機能訓練）事業

① 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	8	8	9	9	8	6	5	6	6	8	9	8	90
新規	0	1	1	0	0	0	0	2	0	2	1	0	7
終了	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	0	7

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

P T : 理学療法 O T : 作業療法 S T : 言語聴覚療法

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
P T	70	55	77	65	35	24	21	35	31	42	48	51	554
O T	41	32	49	46	25	16	18	24	26	24	29	35	365
S T	0	0	5	6	6	4	4	3	2	4	7	7	48

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着 (午前の部) バイタルチェック (血圧・脈拍・体温等)
10:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労希望状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着 (午後の部) バイタルチェック (血圧・脈拍・体温等)
13:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労希望状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

(3) 地域活動支援センター

① 入退所状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	229
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況 (名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延数	111	105	131	119	117	115	118	100	98	98	109	119	1340

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着・バイタルチェック (血圧・脈拍・体温等)
10:00	準備体操・活動開始 (それぞれのグループに特色あり) 体操・創作・外出・自主トレーニング等
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・自主トレーニング等
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

⑤ 活動グループ

グループ名	人数	活動内容
ヘルシーライフ	3名	散歩、外出、装飾作り等
スロー☆ワーキング	3名	俳句作成、体操、散歩
つながりねっと	3名	スマホやPCを活用、SNSを活用して地域交流
エンジョイセルフ	4名	自主体操、レクリエーション、GWを通して社会生活力の向上
おしゃべり工房	3名	個人制作、レクリエーション等
ミュージック	3名	曲に合わせての楽器演奏、歌唱、発声練習等
SHIP	4名	高次脳機能障害者を対象としたグループ活動 社会生活技術訓練の試行
自主トレーニング	5名	個別プログラムに沿った自主的な運動等
体操	4名	スポーツレク、体操等
自主製作	3名	手芸、外出

(4) その他

① 入浴事業

ア. 利用対象者

区内に在住する障害者で、一般の浴槽での入浴が難しい方に対して清潔を保つことを目的に入浴の機会を提供する。

イ. 定員

a. 機械入浴 1人週1回、1日最大4名まで利用可。

b. 介助入浴 1人週2回、ヘルパー等の付添で利用可。

※介助の状況により1日に10名程度利用可。

ウ. 性別・年齢構成・障害程度

a. 機械入浴（現員0名）			b. 介助入浴（現員0名）		
性別	年齢構成	障害程度	性別	年齢構成	障害程度

エ. 利用状況

a. 機械入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	4	3	5	3	3	3	4	5	0	0	0	0	30

b. 介助入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

② 講座・講習会

ア. 利用対象者（中野区内在住、在勤の方）

イ. 定員（講座・講習会により変動あり）

ウ. 利用状況

a. 講座（定例・入門）

障害者の自立や社会参加、趣味の拡大等の為に開催

講座名	曜日	実施回数	利用人数
料理講座（視覚障害）	第1火曜	全0回	0名
編み物講座	第1月曜	全10回	45名
座位エクササイズ講座	第2・4木曜	全20回	102名
書道講座	第2水曜	全11回	48名
レク体操講座	第1金曜	全7回	20名
入門講座		全1回	12名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部講座の中止、縮小を行った。

b. 講習会。

点字講習	前期後期	全20回	利用人数	39名
------	------	------	------	-----

③ 利用者等への相談支援

ア. 福祉サービス利用者に関する相談及び支援

イ. 専門職による相談

ウ. 支援体制の確立

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ア	0	1	2	1	1	3	1	1	1	0	1	2	14
イ	0	1	2	7	5	3	4	1	7	4	0	2	36
ウ	12	19	13	12	15	12	11	9	15	7	7	14	146

(5) 生活介護事業

① 車椅子利用者 13名

② 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	27	27	27	26	26	25	25	25	25	25	25	25	308
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

③ 保護者状況（名）

状況	両親	父親	母親	兄弟 姉妹	叔父 叔母	従兄 弟	後見 人	その他	合計
男性	12	0	2	0	0	0	0	1	15
女性	9	0	0	0	0	0	0	1	10
合計	21	0	2	0	0	0	0	2	25

④ 利用率（％）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
62.9	61.7	60.4	55.9	56.4	60.4	63.8	63.8	56.8	68.2	68.4	68.7	62.3

⑤ 日課・週間プログラム

	月	火	水	木	金
9:30	送迎バスまたは家族送迎にて通所				
9:50	更衣・水分補給・体調確認・その他				
10:00	ミーティング				
	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	合同活動
12:00	昼食・歯磨き・自由時間				
13:30	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC	グループ別 活動 ABC
14:45	更衣・水分補給・ミーティング				
15:30	送迎バスまたは家族送迎にて帰宅				

⑥ 目的別グループ

グループ	人数	活動内容	
		目的	活動内容
サンサン	14名	健康や体力の維持増進・気分転換を目的としたウォーキング、館内歩行、ストレッチ等。集中力や日中のメリハリを目的とした作業活動。	散歩・作業（クッキー作り、缶回収・つぶし・仕分け並べ、新聞回収、ビーズ作り、紙すき等）・軽運動・足浴・調理・音楽・買い物・お茶会等
ポレポレ	13名	身体機能の維持・発達を目的としたストレッチや感覚活動。集団と個別を意識した創作やレク活動。	理学療法士・作業療法士によるストレッチ・買い物・散歩・音楽・軽運動・足浴・本読み・創作・お弁当購入（ランチ）・こよみ作り等

⑦ 日中活動

	午前		午後		内容
月	A	資源回収	A	リラックス スヌーズレン	
	B	創作①	B	散歩（運動）	
	C	創作②	C	創作	
火	A	バス外出	A	足浴	
	B	バス外出	B	足浴	
	C	館内活動	C	散歩（運動）	
水	A	資源回収	A	創作	
	B	散歩	B	創作	
	C	創作	C	散歩	
木	A	バス外出	A	作業	
	B	バス外出	B	リラックス	
	C	創作	C	散歩	
金	A	合同活動	A	散歩	

	B		B	スヌーズレン	グ等)を行い、生活介護事業全体で交流できる場を作った。
	C		C	スヌーズレン	

⑧ その他の活動・サービス（全グループ共通）

ア．利用者の自治会活動（ひまわり会）

ひまわり会の話合いは年間4回、全体で行った。8月のサマーパーティーと年度末の納め会を利用者が主となって企画し、進行の役割を担当した。行事開催時の開会・閉会の挨拶は利用者代表が行った。

イ．調理実習

今年度も引き続きコロナ感染症対策を行いながら、家庭菜園を行い収穫した作物をさらに調理実習で用いてピザ作りを行った。

2月はバレンタインデー、3月はホワイトデー企画で焼き菓子作りを行い、出来上がった焼き菓子は活動時間に皆で試食し、お土産で各家庭に持ち帰り、ご家族からも好評を頂いた。

ウ．理学療法・作業療法

理学療法士、作業療法士に相談し、利用者のニーズに合わせたストレッチ・訓練や自助具・座位保持等の補装具を製作した。また、車椅子の状態を確認し、家族へ使用時の様子を伝えた。

エ．プール活動

コロナ感染症対策のため、中止した。

オ．音楽活動

コロナ感染症対策を徹底しながら、活動内容も工夫し実施した。また、声を出して歌う時は、その様子をビデオに撮り、映像を流した。

飛沫感染防止対策として講師と利用者の上に大きなアクリル板で仕切りを作り、感染症対策をしっかりと行いながら実施した。

カ．パーソナル外出

コロナ感染者数の増減を踏まえ、実施時期を検討決定し、今年度は近場のお店にて昼食外出を実施した。サンサングループは、徒歩圏内で行ける地元のレストラン（エコダイエ）に行き、各利用者それぞれが食べたいものを自身で選び、昼食とした。

また、ポレポレグループは、ホテル（光が丘カデンツァ）の宴会場を利用し、医療的ケアの方でも参加できる環境を整え、普段とは違った景色を楽しみながら胃ろうを安全に実施できた。

キ．クラブ活動

家庭菜園、梅干し作りを行うグループと、その様子を写真におさめるグループで実施した。家庭菜園ではバジルやトマト、しし唐を苗から育て収穫した。収穫物は調理実習で活用し、皆で作ったピザは大好評だった。梅干しは、近隣施設の庭から頂いたり、地元の青果店から購入し出来上がった物を持ち帰ったり、お世話になった施設へプレゼントした。また、会館祭りでは自主生産品の販売を行い、梅干しは数量限定で販売したところ、即完売となった。

⑨ 全体行事

実施日	行事名	実施場所	参加人数	
			利用者	ボラ
6月10日	ぬまりんピック	中野区障害者福祉会館	19名	0名
9月22日	オータムパーティー	中野区障害者福祉会館	16名	0名
12月28日	忘年会	中野区障害者福祉会館	16名	0名

⑩ 家族との連携（コロナ感染症対策の中止）

家族連絡会（感染症予防対策のため3回のみ開催）	3回	会館まつり中止（代替え案として丸山塚祭りに参加）	1回
給食試食会	0回	個別面談（感染症予防対策のため中止）	0回
ぬまりんピック	1回		

⑪ タイムケア

17時まで（41回）	64回
18時まで（23回）	

（6）特定相談支援事業

① 利用対象者

会館生活介護利用者

② 相談窓口の時間、開所日

毎週水曜日 15：30～17：00

③ 利用者数

ア. 令和4年度新規計画作成 0件

イ. 更新 12件

ウ. モニタリング 12件

5. 権利擁護

(1) 事業所としての方針

法人が定めた、「権利擁護の取り組み体制・虐待防止要綱」に基づき、虐待防止委員会を組織した。身体拘束適正化委員会は未設置だが、朝礼や各事業の会議内で、権利擁護等の意識を全職員が日頃から意識する機会を設けた。

(2) 虐待の防止・対応

委員会では、会館運営、自立訓練事業、生活介護事業から担当職員を2名ずつ選出し、権利擁護や虐待防止について取り組んだ。委員会での検討内容は、翌日朝礼時全体で共有した。身体拘束適正化委員会は未設置だが、生活介護事業では該当する利用者やご家族に承諾を得た。全職員を対象に各事業にて年2回セルフチェックを実施した。

また、今年度の満足度調査は、第三者評価を実施し会館の運営、利用者や保護者からの評価を受けたため、実施していない。

(セルフチェック実施)

実施月	人数
9月（生活）	18名
9月（自立）	9名
3月（生活）	18名
3月（自立）	9名

(3) 研修

6月4日	外部研修	障害者虐待防止・身体拘束等適正化に向けて	2名
11月29日	内部研修	施設内全体研修：グループワーク 事前にやまゆり園事件に関するDVDを全職員鑑賞。内容に関する意見や会館でできること等を話し合う。	16名
12月26日	外部研修	障害者虐待防止法の理解と身体拘束適正化について	1名
2月21日	外部研修	障害者・高齢者虐待防止講演会	1名

(4) 委員会

実施日	内容	内容詳細	人数
5月31日	虐待防止委員会	昨年の振り返り、今年度の委員会計画	3名
7月28日	虐待防止委員会	各事業の職員の言葉遣い等	5名
10月17日	虐待防止委員会	DVD鑑賞後の研修計画等	5名
2月17日	虐待防止委員会	今年度の振り返り、来年度の研修計画等	5名

(5) 虐待防止委員

中野区 障害者 福祉会館	虐待防止責任者	施設長
	虐待相談担当者 (窓口)	生活介護主任 自立訓練主任
	虐待防止委員	生活介護主任支援員 自立訓練主任支援員 支援員 看護師
法人	虐待防止責任者	理事長
	虐待相談担当者 (窓口)	相談員
	虐待防止委員	理事長他8名

(6) 苦情解決第三者委員

生活介護事業、自立訓練事業で、各利用者や家族の相談を受け、対応した。結果、苦情となる案件は確認されなかった。

(7) 個人情報保護

中野区個人情報保護条例及び中野区情報公開制度に基づき、区により定められた取り扱うことのできる個人情報の範囲、取扱い方法について課せられた制限及び義務を遵守した。

① 施設で扱う個人情報の範囲と管理について

ア. 施設で扱う個人情報は、利用者支援上、特に必要な情報のみに限定し、職員の責任と権限を明確に定め、管理を徹底した。

イ. 個人ファイルについては、全て事務所内の施錠できる保管庫に管理し、職員による緊急時の個人情報の持ち出しは、管理者を通して行った。

ウ. システムによる管理を徹底し電子媒体の個人保有を禁止した。

② 情報提供について

緊急対応時を除き、他の指定事業者やその他第三者に対し、利用者または、その家族に関する情報を提供する場合は、あらかじめ文書により利用者または家族から同意を得るようにした。

③ 職員教育

個人情報の取り扱いに対して全職員に説明し管理を徹底した。

(8) 障害者差別解消法

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」を活用し、障害特性に応じて事業毎に支援方法を確認した。

対応受付担当者（自立訓練）	自立訓練主任
対応受付担当者（生活介護）	生活介護主任
対応受付責任者	施設長

(9) 運営協議会の設置

2月に対面で開催した。会館を利用する各事業の利用者とその家族、会館を利用し活動している障害者団体代表者と民生委員が参加した。新型コロナウイルス感染予防の為、開催ができなかった2年間分の報告と今後の会館運営について意見交換を行った。

6. 医務

(1) 健康管理

① 自立訓練（機能訓練）事業

年20回、自立訓練及び地域活動支援センターの利用者を対象に嘱託医による診察を実施した。利用者の健康状態を把握し、家族・主治医・関連医療者との連携を図り健康で安全な生活が送れるように支援した。

ア. 利用者が安全に通所できるように、通所時毎に利用者の体調を観察、把握した。また、新型コロナウイルスに関する情報を収集し、利用者・職員への注意喚起、手指消毒機器の設置等、施設内の衛生管理や感染症対策を行った。

イ. 体調不良者からの聞き取りを強化し、コロナ感染者へ療養支援、疑いの方は、受診や経過観察のための指導を行った。

ウ. 新規利用者に対して効果的に訓練を実施できるよう、医療機関からの情報を基に令和4年度は7名のアセスメントを実施した。

エ. コロナワクチン接種を希望される利用者から相談を受け、スムーズに接種ができるよう支援した。

② 生活介護事業

年1回、全利用者を対象として定期健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家族・主治医等と連携を図り健康で安全な生活が送れるよう支援した。令和4年度は、医療的ケア対象利用者を主とした医ケア相談の機会を2回作り、医療面での体制強化に努めた。また、日常の医療的ケアに関する疑問や確認事項は、主治医とメールや電話連絡にて確認を行った。

ア. 利用者、家族より健康情報を得て健康管理を行った。

イ. 月1回、体重血圧測定及び必要に応じてバイタルチェックの実施により疾病等の早期発見に努めた。

ウ. 各検診を実施し、必要と思われる医療情報等を各家庭へ提供することで健康や疾病に対する注意を喚起した。

エ. 利用者が会館内で衛生的な生活が送れるように環境を整えた。

オ. 利用者の体調を観察・把握し、社会の感染情報も得ながら、施設内の衛生管理を行った。

カ. 職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組めるよう調整した。

(2) 実施体制

関係医療機関・嘱託医

医療機関名	主な診療科目
西武沼袋医院	内科・外科・泌尿器科・皮膚科
石坂整形外科	整形外科・理学診療科
銀河クリニック	精神科
神戸歯科医院	歯科
心身障害児総合医療療育センター	指導医による医療的ケアの確認と相談

(3) 嘱託医健診等

① 自立訓練（機能訓練）事業

内科健診	20回	体重測定	毎月
整形外科健診	20回	健康チェック	毎日
精神科相談	0回		

② 生活介護事業

内科健診	4回	体重測定	12回
整形外科健診	4回	健康チェック	毎日
精神科健診	4回	定期健康診断	1回
歯科検診	2回	医療的ケア相談・研修	3回

(4) 感染症予防・対応

- ① 政府、自治体の発表するコロナ対策に合わせ療養機関のフローチャート（マニュアル）の変更を適宜行い、職員へ周知し全体共有を図った。
- ② 毎日、利用者帰宅後に活動室内の物品・トイレ・洗面等の消毒を行い衛生管理に取り組んだ。また、トイレや活動室、食堂の洗面所には手指用消毒液を設置し、こまめに手洗いと消毒を行い、感染症を予防した。
インフルエンザ流行時期には、特に加湿など環境面に配慮した。また利用者家族に注意・喚起を行った。
- ③ 新型コロナウイルス感染防止として、次亜塩素酸水精製機のレンタルと次亜塩素酸水の噴霧機を導入し、利用者活動室や事務室、医療的ケア対象者の活動室などで噴霧を行った。
- ④ 中野区から手袋や防護服等の感染予防物品の支給を受け緊急時対応の為に備えた。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者に対し、フローチャート（マニュアル）を基に療養、待機日数の設定を行った。また、発生時には、館内の感染拡大を防ぐための対応に取り組んだ。

（５）理学療法士・作業療法士との連携

利用者の必要に応じて理学療法士・作業療法士と連携を図り、食事指導、筋力の維持、拘縮予防等について対応し、運動機能の改善、維持を行った。

また、必要に応じ研修やケース検討会等を企画し、支援員・看護師は介護技術の助言を受け、支援に反映させた。

7. 給食・調理

利用者の障害特性を考慮し、可能な範囲内で柔軟に対応した。食形態については普通食以外に、嚥下機能等に配慮をした軟菜食、ソフト食、ペースト食の区分を設け、その区分から個別に対応した。

（１）給食会議

月一回定例会議を実施した。献立の確認、行事や季節に合わせたメニューを提案し、利用者へ円滑に給食を提供することができた。

（２）衛生管理（食中毒予防）

委託業者は、業者の衛生管理マニュアル（作業管理規定、作業標準書）に沿って作業環境や作業員・作業場の衛生管理に取り組み、調理作業を行った。

（３）委託業者

給食提供業者

会社名：株式会社CTMサプライ

所在地：東京都台東区西浅草3-4-2

電話：03-6457-8282

FAX：03-6457-8283

8. 危機管理体制

(1) 自立訓練

① 事故防止・対応

月	インシデント報告 (ヒヤリハット) 件数	事故報告 件数	保険申請 (施設賠償保険など) 件数
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	1	0	0
2月	1	0	0
3月	3	0	0

② 緊急時対応等

日時	研修・訓練名等	人数
7月4日	総合防災訓練	8名
10月13日	自衛消防訓練	1名
3月20日	総合防災訓練	9名

③ 情報漏えい対策

日時	研修・訓練名等	人数
4月1日	個人情報について	5名
8月31日	PCのウイルスソフトについて	5名
1月23日	PC及びウイルスソフトの更新及び使用方法について	6名

漏洩事故件数	0件
--------	----

④ 障害福祉サービス費請求事務

請求事務に関する事故件数	0件
--------------	----

(2) 生活介護

① 事故防止・対応

月	インシデント報告 (ヒヤリハット) 件数	事故報告 件数	保険申請 (施設賠償保険など) 件数
4月	1	0	0
5月	2	0	0
6月	6	0	0
7月	0	0	0
8月	1	0	0
9月	2	0	0
10月	3	0	0
11月	8	0	0
12月	4	0	0
1月	2	0	0
2月	3	0	0
3月	3	0	0

② 緊急時対応等

日時	研修・訓練名等	人数
7月4日	総合防災訓練	16名
3月20日	総合防災訓練	20名

③ 情報漏えい対策

日時	研修・訓練名等	人数
4月1日	個人情報について	12名
8月31日	PCのウイルスソフトについて	12名
1月23日	PC及びウイルスソフトの更新及び使用方法について	12名

漏洩事故件数	0件
--------	----

④ 障害福祉サービス費請求事務

請求事務に関する事故件数	0件
--------------	----

(3) 特定個人情報(マイナンバー関連書類・データ等)の管理

職名	
管理責任者(法人)	事務局長
従業員の個人番号取扱責任者	施設長
従業員の個人番号取扱担当者	事務員
入所利用者の個人番号取扱担当者	該当なし

漏洩事故件数	0件
--------	----

9. 防災訓練関係

(1) 自衛消防体制

障害者福祉会館館長を隊長として、館内にある区民活動センターと協同で自衛消防組織を編成し、訓練を実施しながら有事に備えた。

また、災害時伝言ダイヤルの活用のため、職員で録音、再生等の手順を確認した。

(2) 防災訓練

① 自立訓練（機能訓練）事業 隔月に防災訓練実施

総合防災訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

② 生活介護事業 隔月に防災訓練実施

総合防災訓練（合同）	2回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

(3) 大規模地震・災害対応

新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、総合防災訓練は消防署の立ち合いの元、実施した。また、緊急時のバス対応マニュアルを作成し、区と業務委託業者、関係機関と共有した。

10. 家族（保護者）との連携

(1) 生活介護事業

日々の連絡帳を通して、家庭での様子、施設からの連絡や利用者の活動時の様子、健康面の特記事項等、情報交換を行い連携した。

- ① 毎月「月予定」を作成し、月の活動や行事の日程を伝えるとともに前月分の活動の様子を写真で家族に報告した。
- ② 年4回生活介護広報誌「ひまわりだより」を作成し、行事の様子を報告した。
- ③ 今年度の家族会は、コロナ感染症対策のため、5回開催した。
- ④ 中間時・年度末ともに個別支援計画書の作成・見直し・報告は書面でのやり取りに切り替え、利用者・家族の意向を踏まえた計画書を作成した。
- ⑤ 例年どおり「ぬまりんピック」を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族の参加は中止とした。
- ⑥ 東京都重症心身障害児（者）通所事業の開始に向けた車いすトイレの改修工事が終了した際に、保護者の見学会を行った。

11. 地域との連携

(1) 地域交流

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会館まつりは、自主生産品の販売という形で実施した。また、区内の福祉施設にも声をかけ、販売の場を提供する機会を作った。
- ② 活動を通して近隣や障害者団体、学校や保育園等と交流を行った。
- ③ 社会福祉士相談援助実習及び保育士実習の受け入れを行った。介護等体験実習の受け入れは、コロナ感染症拡大防止を考慮し、受け入れ人数を制限した。
- ④ アルモニーは、新型コロナウイルスの感染状況を見て展示を行った。
- ⑤ 地域の三線奏者の方々を招き、アルミモニーにて感染症対策を十分に取しながらコンサートを行った。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

- ① 障害者相談支援事業所との情報交換と連携を強化した。
- ② 自立支援協議会の各部会へ参加した。
 - ア. 施設系事業者連絡会
 - イ. 相談支援部会
 - ウ. 差別解消部会
 - エ. 自立支援協議会全大会
- ③ 中野区高次脳機能障害支援者連絡会へ参加した。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

- ① 自立訓練
 - ア. 実習・体験・見学等

介護等体験	0名	短大インターンシップ	2名
社会福祉士相談援助実習	0名	看護実習	6名

イ. ボランティア

日常（作業・活動・企画等）	1名
---------------	----

- ② 生活介護
 - ア. 利用者実習

特別支援学校	1回
--------	----

イ. 実習・体験・見学等

介護等体験	4名	保育実習	1名
看護実習	6名	中野区心身障害児(者)を守る会 WEB 施設見学会	10名

ウ. ボランティア

行事（会館まつり・外出・宿泊旅行・プール等）	0名
------------------------	----

12. 会議・委員会

(1) 法人関係

施設長会議 (オンライン会議 9 回・ 参集会議 2 回)	11 回	主任係長会 (オンライン会議 8 回 参集会議 1 回)	9 回
事務連絡 (オンライン会議)	3 回	看護師連絡会 (オンライン会議)	2 回

(2) 施設関係

運営会議	3 回	医務会議	12 回
運営協議会	1 回	会館まつり全体会議(会館ま つり中止のため実施せず)	0 回
虐待防止委員会	4 回	会館まつり担当者会議 (丸山塚まつり参加の為)	2 回
人事考課者会議	2 回	防災担当者会議	2 回
給食会議(書面開催含む)	12 回	全体職員会議	0 回
バス運行会議	7 回		

(3) 区関係

自立支援協議会 全大会	3 回	入所情報連絡会	1 回
相談支援部会	12 回	施設系事業者連絡会	6 回
差別解消部会	4 回		

(4) サービス事業別会議

① 自立訓練(機能訓練)

職員会議	12 回	支援員会議	8 回
------	------	-------	-----

② 生活介護

職員会議	12 回	個別支援計画全体会議	10 回
グループ会議	15 回	家族連絡会	3 回
リーダー会議	12 回		

1.3. 研修計画・大会参加

(1) 研修実績 会館運営

① 育成会関係

4月18日・19日・27日・28日	新任研修(WEB)	1名
11月8日・2月6日	新人事務研修	1名

② 中野区関係

実績なし

③ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
1月20日	給付について（健康保険編）	東京社会保険協会 (web)	1名
1月26日	知らないと損をする年金のはなし	東京社会保健協会 (web)	1名
3月3日	社会福祉法人・施設会計事務（決算）	(社福)東京都社会 福祉協議会 (web)	1名

④ 他施設職員研修

実績なし

⑤ 施設内研修

11月29日	虐待防止研修	虐待防止に関わる意見を話し合う	3名
--------	--------	-----------------	----

(2) 研修実績 自立訓練

① 育成会関係

6月7日	人事考課研修（中級編）（参集）		2名
6月17日, 2月9日	新任主任研修（参集）		1名
10月26日	初級中堅研修（参集）		1名

② 中野区関係

10月13日	高次脳機能障害の基礎理解と就労支援（web）		2名
10月28日	支援者のメンタルヘルスについて（web）		1名
11月8日	相談支援（相談支援食）における記録の書き方（web）		1名
12月13日	発達障害児・者への理解や支援について（web）		1名
1月26日	強度行動障害の理解（web）		1名
2月21日	障がい者・高齢者虐待はなぜおきるのか（web）		1名
3月6日	成年後見制度で高齢者・障害者の権利はどこまでまもれるのか（web）		1名

③ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
6月4日	障害者虐待防止・身体拘束適正化に向けて	全日本自閉症支援者協会 関東ブロック（web）	1名
6月29日	「続・利用者さんが飲んで いる薬を知ろう！—精神・神経に 作用する薬を学ぶ	知的発達障害部会 利 用者支援研究会（web）	1名

7月11日	当院におけるリハビリテーション栄養の取り組み	区中央部地域リハビリテーション支援センター東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 (web)	1名
8月2日	メンタルヘルス ラインケア研修	東京都医療福祉事業所内メンタルヘルスケア研修事務局 (web)	1名
8月1～8月18・19日	サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者研修	公益財団法人 総合健康推進財団 (web)	1名
8月1日	地域での活動推進と社会参加の支援	区中央部地域リハビリテーション支援センター東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 (web)	2名
10月3日	半側空間無視の理解とリハビリテーションー最新知見ー	区中央部高次脳機能障害支援普及事業 東京慈恵会医科大学附属リハビリテーション医学講座 (web)	2名
10月13日	自衛消防研修会	東京消防庁	1名
11月14日	精神科リハビリテーションにおける理学療法士の役割	区中央部高次脳機能障害支援普及事業 東京慈恵会医科大学附属リハビリテーション医学講座 (web)	1名
12月5日	高次脳機能障害のある方の社会参加を促すために	区中央部高次脳機能障害支援普及事業 東京慈恵会医科大学附属リハビリテーション医学講座 (web)	2名
12月22日	サービス管理責任者更新研修	公益財団法人 総合健康推進財団 (web)	1名
2月6日	高次脳機能障害患者の就労支援について～実施の障害者雇用を通して学ぶ	区中央部高次脳機能障害支援普及事業 東京慈恵会医科大学附属リハビリテーション医学講座 (web)	1名

④ 他施設職員研修

実施日	研修先	人数
6月23日	大田区サポートセンター	2名

⑤ 施設内研修

11月29日	虐待防止研修	虐待防止に関わる意見を話し合う	5名
12月21日	人材育成研修	支援者のメンタルヘルスについて	9名
12月22日	人材育成研修	相談支援（相談援助職）における記録の書き方	9名
1月20日	人材育成研修	発達障害児・者への理解や支援について	8名
2月20日	人材育成研修	強度行動障害の理解	9名

(3) 研修実績 生活介護

① 育成会関係

11月11日	上級中堅研修		1名
2月22日	相談支援事業と地域生活支援拠点について		2名

② 中野区関係

10月11日	相談支援従事者 勉強会・交流会		1名
10月19日	相談支援従事者 事例検討会		1名
12月7日	障害のある人への「合理的配慮」とは		1名

③ その他外部研修

開催日	研修名・内容	主催	人数
6月4日	障害者虐待防止・身体拘束適正化に向けて	全日本自閉症支援者協会関東ブロック (web)	1名
6月15～19、29日 8月8、9日	東京都相談支援従事者 現任研修	公益財団法人 総合健康推進財団 (web)	1名
6月29日	「続・利用者さんが飲んでいる薬を知ろう！－精神・神経に作用する薬を学ぶ」	知的発達障害部会 利用者支援研究会 (web)	1名
7月7日	強度行動障害 公開基礎講座	東社協 知的発達部会 (web)	1名

7月24日 8月15日	てんかん講座	日本てんかん協会 (web)	1名
8月15日 8月29日 9月9日	摂食・嚥下指導講演会	心身障害児総合医療療育センター (web)	1名
9月7日 ～9日	福祉相談関係職員 講習会	心身障害児総合医療療育センター 療育研修所 (web)	1名
10月5日	東京都精神障害計画相談支援従事者等養成研修事業	東京精神保健福祉士会 (web)	1名
10月13日	自衛消防研修会	東京消防庁 (参集)	1名
11月28日～12月2日	重度・重症児(者)医療・療育基礎講習会	心身障害児総合療育センター	1名
1月12日～14日	重症障害児(者)医療看護師講習会	心身障害児総合療育センター	1名
2月13日～17日	重度・重症児(者)医療・療育基礎講習会	心身障害児総合療育センター	1名
3月1日～3月17日	知的障害者の認知症診断基準・早期発見・支援	独立行政法人国立知的障害者総合施設のぞみの園 (web)	1名

④ 他施設職員研修

実施日	研修先	人数
7月1日	高田馬場生活実習所	1名

⑤ 施設内研修

8月30日		障害福祉制度と介護保険制度	15名
9月24日		「続・利用者さんが飲んでいる薬を知ろう！—精神・神経に作用する薬を学ぶ」	10名
10月19日		相談支援従事者 勉強会	11名
11月29日	虐待防止研修	虐待防止に関わる意見を話し合う	11名
1月16日		てんかん講座	16名
2月10日		東京都精神障害計画相談支援従事者等養成研修	13名

(4) 人材育成

リーオンミーを活用する中で、各事業で常勤、パート職員関わらず課題となる内容の視聴を1つ挙げ、内容を共有した。また、個人の課題となる内容のタイトルを上司と確認、計画を作成し視聴した。

(5) 大会参加

育成会大会

7月15日	都大会	2名
9月22日	大研修会(Web開催)	2名
10月22日	第58回関東・甲信越ブロック大会	0名

14. 労務管理

(1) 職員健康管理

	実施期間	実施人数
定期健康診断	令和4年11月～令和5年1月	30名
特定業務従事者健康診断	該当なし	

(2) 衛生推進体制

職務名		備考
産業医	該当なし	
衛生管理者	該当なし	
衛生推進者	看護師	
衛生委員会	該当なし	

衛生推進取組結果

- ① 労働者の危険又は、健康被害の防止をするための措置に関すること。
- ② 労働者の安全又は、衛生のための教育の実施に関すること。
- ③ 健康診断の実施その他健康診断の保持増進のための措置に関すること。
- ④ 労働災害の原因調査及び再発防止に関すること。

報告事項	件数及び実施日時	その他
①	4回 必要時(朝礼) (4月1日、8月5日) (12月7日、2月7日)	感染症、体調管理等必要時に朝礼で呼びかけを実施
②	3回 (3月1日、3月10日、4月4日)	重症心身障害児(者)通所事業に向けてリフトの設置と操作研修の実施
③	1回 健康診断実施時	2次健康診断の有無の確認
④	2回 必要時(朝礼) (10月4日、12月1日)	危険個所の全体周知(工事等)、情報の共有

(3) ワーク・ライフ・バランスの推進

時間外勤務・休日出勤 前年度比 (今年度事業所総時間外勤務時間数+休日出勤時間数)	時間数 = 502	114%
(前年度事業所総時間外勤務時間数+休日出勤時間数)	= 440	
年次有給取得率 前年度比 (今年度事業所総有給取得日数)	日数 = 446.5	96%
(前年度事業所総有給取得日数)	= 466	

(4) 職場におけるハラスメント対応体制

職務名	
ハラスメント法人対応責任者	事務局長
ハラスメント法人相談窓口	相談員
ハラスメント事業所相談窓口 (自立訓練)	自立訓練主任他 1 名
ハラスメント事業所相談窓口 (生活介護)	生活介護主任他 1 名
相談実績	0

(5) メンタルヘルス・ストレスチェック制度

① メンタルヘルス

法人外相談窓口	東京メンタルヘルス株式会社	メンタルサポートネット
法人内相談窓口	職員悩みごと相談窓口	担当

② ストレスチェック制度

実施規定に基づき当該職員に以下の日程でストレスチェックを実施した。

職務名	
ストレスチェック制度担当者	事務局長
ストレスチェック制度実施者	株式会社 HL&E
ストレスチェック実施実務担当者	人事・労務部門担当職員のみ
面接指導担当医師	株式会社 HL&E 精神科医
実施日程	2023 (R5) / 2 / 13 (月) ~ 2023 (R5) / 3 / 5 (日)

(6) 次世代育成支援

行動計画に基づく取組結果

取組	実績件数・人数
子供参観日	0 件
職場体験等受け入れ	1 件 2 名

15. 指導・監査・調査等

(1) 労務環境モニタリング

中野区が指定管理施設に対して、その指定期間中に実施する。今年度

は対象年度ではなかった。

(2) 事業別満足度調査の実施

第三者評価を実施し、外部機関からの評価を得た。利用者及び区へ報告、外部機関から公表した。

16. 指定管理

(1) 第1期

平成21年4月1日から平成26年3月31日（5年間）

(2) 第2期

平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年間）

(3) 第3期

平成31年4月1日から令和6年3月31日（5年間）

17. 決算

別紙参照